

## 線型符号

符号語数  $M$  の大きい符号を  
組織的に構成するには、

$C$  の元がなるべく “均等に” 分布する  
のが望ましい

→  $V = T^n$  の持つ数理構造 (対称性) を利用  
… 線型符号

## 線型符号

$T = F_q$  : 有限体にとる

$V = F_q^n$  :  $F_q$  上の線型空間の構造を持つ  
(和・スカラ倍がある)

$C$  :  $V$  の部分線型空間のとき

$C$  : 線型符号 (linear code) と呼ぶ

## 有限体 (finite field)

$\mathbb{Z}/n\mathbb{Z}$  :  $n$  で割った余りの等しい整数は同一視

→ 環の構造を持つ (加減乗が出来る)

$\mathbb{Z}/n\mathbb{Z}$  : 体 (四則演算が出来る)



$p$  : 素数

$F_p := \mathbb{Z}/p\mathbb{Z}$  :  $p$  元体

## 有限体 (finite field)

$q = p^m$  : 素数冪 ( $p$  : 素数) に対して

$q$  個の元から成る有限体が存在

→  $F_q, GF(q)$  と書く

構成:

$f(X) \in F_p[X]$  :  $F_p$  上の  $m$  次既約多項式

$K := F_p[X]/(f)$  とすると、

$K$  は体で、  $\dim_{F_p} K = m$  →  $\#K = q$

## 有限体上の線型空間

有限体  $F_q$  上でも、 $R$  や  $C$  上と同様に、  
線型代数が出来る (基底・次元・などなど)

$T = F_q$  : 有限体

$V = F_q^n$  :  $F_q$  上の線型空間の構造を持つ

$C \subset V$  : 部分線型空間となるものを考える

- $0 \in C$
- $x, y \in C \implies x + y \in C$
- $x \in C, a \in F_q \implies ax \in C$

## 線型符号 (再掲)

$T = F_q$  : 有限体にとる

$V = F_q^n$  :  $F_q$  上の線型空間の構造を持つ

$C$  :  $V$  の部分線型空間のとき

$C$  : 線型符号 (**linear code**) と呼ぶ

## 線型符号の不変量

符号語長  $n = \dim_{F_q} V$

$k := \dim_{F_q} \mathcal{C} : \mathcal{C}$  の  $F_q$  上の次元

符号語数  $M = \#\mathcal{C} = q^k \quad \longrightarrow [n, k]\text{-符号}$

$w(\mathbf{x}) := \#\{i | x_i \neq 0\} : \mathbf{x} \in V$  の重み (**weight**)

$d(\mathbf{x}, \mathbf{y}) = w(\mathbf{y} - \mathbf{x})$

最小距離  $d = d(\mathcal{C}) = \min\{w(\mathbf{x}) | \mathbf{x} \in \mathcal{C}, \mathbf{x} \neq \mathbf{0}\}$   
 $\longrightarrow [n, k, d]\text{-符号}$

## Hamming 距離 (再掲)

$V = T^n$  上に次で定まる距離

$$d : V \times V \longrightarrow \mathbf{R}$$

を  $V$  上の **Hamming 距離 (distance)** と呼ぶ :

$\mathbf{x} = (x_1, \dots, x_n), \mathbf{y} = (y_1, \dots, y_n) \in V$  に対し、

$$d(\mathbf{x}, \mathbf{y}) := \#\{i \mid x_i \neq y_i\}$$



## 線型符号の不変量

- 符号長  $n = \dim_{F_q} V$  (当座固定)
- 情報長  $k = \dim_{F_q} C$  (大きいほど良い)
- 最小距離  $d$  (大きいほど良い)

$$R := \frac{k}{n} : \text{伝送レート}$$

$$\delta := \frac{d}{n} : \text{相対最小距離}$$

→  $R, \delta$  : 共に大きくしたい (相反する要求)

## 線型符号の例

- 多数決符号 (反復符号)
- パリティ検査符号 (誤り検出のみ)
- **Hamming** 符号

## 線型符号の表示

$$\mathcal{C} \subset V = \mathbf{F}_q^n = \{\mathbf{x} = (x_1, \dots, x_n) \mid x_i \in \mathbf{F}_q\}$$

$$\dim_{\mathbf{F}_q} \mathcal{C} = k$$

$(\mathbf{v}_1, \dots, \mathbf{v}_k) : \mathcal{C}$  の基底 (の 1 組)

$$\mathbf{v}_i = (a_{i1}, \dots, a_{in})$$

$$G := \begin{pmatrix} \mathbf{v}_1 \\ \vdots \\ \mathbf{v}_k \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_{11} & \cdots & a_{1n} \\ \vdots & \vdots & \vdots \\ a_{k1} & \cdots & a_{kn} \end{pmatrix} \in M(k, n; \mathbf{F}_q)$$

:  $\mathcal{C}$  の生成行列 (**generator matrix**)

## 符号語の生成 (符号化)

$$G := \begin{pmatrix} \mathbf{v}_1 \\ \vdots \\ \mathbf{v}_n \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_{11} & \cdots & a_{1n} \\ \vdots & \vdots & \vdots \\ a_{k1} & \cdots & a_{kn} \end{pmatrix} \in M(k, n; \mathbf{F}_q)$$

:  $\mathcal{C}$  の生成行列

$$\mathcal{C} = \{ \mathbf{s}G \mid \mathbf{s} \in \mathbf{F}_q^k \}$$

$$\varphi_G : \mathbf{F}_q^k \xrightarrow{\sim} \mathcal{C} \subset V = \mathbf{F}_q^n$$

$$\mathbf{s} = (s_1, \dots, s_k) \longmapsto \mathbf{s}G = s_1\mathbf{v}_1 + \cdots + s_k\mathbf{v}_k$$

## 符号語の検査

受信語  $y \in V$  が正しい符号語かどうか  
( $y \in C$  かどうか) 検査する

$$\pi_C : V \longrightarrow V/C \simeq \mathbf{F}_q^{n-k} : \text{標準射影}$$

$V/C$  の適当な基底を取って  
(同型  $V/C \simeq \mathbf{F}_q^{n-k}$  を選んで)  
 $\pi_C$  を行列表示する

## 符号語の検査

$$\varphi_A : V = \mathbf{F}_q^n \longrightarrow \mathbf{F}_q^{n-k}$$

$$\mathbf{y} \longmapsto \mathbf{y}A$$

$$\mathbf{y} \in \mathcal{C} \iff \varphi_A(\mathbf{y}) = \mathbf{y}A = 0$$

通常、

転置行列  $H = A^T \in M(n-k, n; \mathbf{F}_q)$  で表示

:  $\mathcal{C}$  のパリティ検査行列

(parity-check matrix)

$$\mathbf{y} \in \mathcal{C} \iff \mathbf{y}H^T = 0$$

## パリティ検査行列と最小距離

$H : C$  のパリティ検査行列 とするとき

最小距離  $d =$   
( $H$  の線型従属な列ベクトルの個数の最小値)

## 復号 (誤り訂正)

$$\mathbf{y} \notin \mathcal{C} \iff \mathbf{y}H^T \neq 0$$

$\mathbf{y}H^T$  :  $\mathbf{y}$  のシンドローム (syndrome)

正しい符号語  $x \in \mathcal{C}$  をどう見付けるか？

$\iff$  誤りベクトル  $e := \mathbf{y} - x$  をどう求めるか？



## 復号 (誤り訂正)

- $\mathbf{y} \equiv \mathbf{y}' \pmod{\mathcal{C}} \iff \mathbf{y}H^T = \mathbf{y}'H^T$
- $\mathbf{y} \equiv \mathbf{e} \pmod{\mathcal{C}}$
- $w(\mathbf{e}) \leq t$  (仮定)

に注意

- 
- $w(\mathbf{e}) \leq t$  なる  $\mathbf{e} \in V$  を予めリストアップ  
→  $\mathbf{e}H^T$  の表を持っておく
  - 受信語  $\mathbf{y} \in V$  に対し、  
 $\mathbf{y}H^T = \mathbf{e}H^T$  なる  $\mathbf{e}$  を表から探す

→ これを如何に効率良く行なうか

## 等距離線型自己同型

$V = (V, d)$  : 距離付き線型空間

$f : V \longrightarrow V$  : 等距離線型自己同型

$$\iff f : \text{線型自己同型で距離を保つ} \\ (d(f(\mathbf{x}), f(\mathbf{y})) = d(\mathbf{x}, \mathbf{y}))$$

$d$  : **Hamming** 距離の場合には、

$$\iff f : \text{線型自己同型で重みを保つ} \\ (w(f(\mathbf{x})) = w(\mathbf{x}))$$

## 等距離線型自己同型

$V = (V, d)$  の等距離線型自己同型全体は  
群を成す  $\cdots \text{Aut}(V, d)$

$\text{Aut}(V, d)$  は次の 2 種で生成される:

- 符号語の位置の置換  
(生成行列の列の置換)
- 或る位置の非零定数倍  
(生成行列の或る列の非零定数倍)

$$\text{Aut}(V, d) = \mathfrak{S}_n \wr \mathbf{F}_q^\times = \mathfrak{S}_n \times (\mathbf{F}_q^\times)^n$$

## 符号の同値

符号  $C, C' \subset V$  が同値

$$\iff \exists f \in \text{Aut}(V, d) : C' = f(C)$$

同値な符号は、  
誤り訂正に関して同様の性質を持つ

## 符号の標準形

必要なら同値な符号で取替えることにより、  
[ $n, k$ ]-符号は次の形の

生成行列  $G$ ・パリティ検査行列  $H$  を持つ

$$G = (I_k | P), \quad H = (-P^T | I_{n-k})$$
$$(P \in M(k, n-k; \mathbf{F}_q), GH^T = O)$$

このとき、

$$\varphi_G : \mathbf{F}_q^k \xrightarrow{\sim} \mathcal{C} \subset V = \mathbf{F}_q^n$$
$$\mathbf{s} = (s_1, \dots, s_k) \longmapsto \mathbf{s}G = (\mathbf{s} | \mathbf{s}P)$$

(前半 : 情報桁、後半 : 検査桁)

## 線型符号の例

- 多数決符号 (反復符号)
- パリティ検査符号 (誤り検出のみ)
- **Hamming** 符号

## 線型符号の例

- 多数決符号 (反復符号)
- パリティ検査符号 (誤り検出のみ)
- **Hamming** 符号

## Hamming 符号

$$c \geq 1$$

$$F_q^c \text{ 内で原点を通る直線の本数 } n = \frac{q^c - 1}{q - 1} ?$$

ここから方向ベクトル  $h_i$  を 1 本ずつ選ぶと  
どの 2 本も同一直線上にない  
→  $h_i$  達の線型従属系は最小 3 本

$$H := (h_1 \cdots h_n)$$

$C$  :  $H$  をパリティ検査行列とする符号

… Hamming 符号 →  $d = 3, t = 1$



## Hamming 符号

$$c \geq 1$$

$$F_q^c \text{ 内で原点を通る直線の本数 } n = \frac{q^c - 1}{q - 1}$$

ここから方向ベクトル  $h_i$  を 1 本ずつ選ぶと  
どの 2 本も同一直線上にない  
→  $h_i$  達の線型従属系は最小 3 本

$$H := (h_1 \cdots h_n)$$

$C$  :  $H$  をパリティ検査行列とする符号

… Hamming 符号 →  $d = 3, t = 1$

## Hamming 符号

$$c \geq 1$$

$$F_q^c \text{ 内で原点を通る直線の本数 } n = \frac{q^c - 1}{q - 1}$$

ここから方向ベクトル  $h_i$  を 1 本ずつ選ぶと  
どの 2 本も同一直線上にない  
→  $h_i$  達の線型従属系は最小 3 本

$$H := (h_1 \cdots h_n)$$

$C$  :  $H$  をパリティ検査行列とする符号

… Hamming 符号 →  $d = 3, t = 1$

## Hamming 符号

$$c \geq 1$$

$$F_q^c \text{ 内で原点を通る直線の本数 } n = \frac{q^c - 1}{q - 1}$$

ここから方向ベクトル  $h_i$  を 1 本ずつ選ぶと  
どの 2 本も同一直線上にない  
→  $h_i$  達の線型従属系は最小 3 本

$$H := (h_1 \cdots h_n)$$

$C$  :  $H$  をパリティ検査行列とする符号

… **Hamming 符号** →  $d = 3, t = 1$

## 演習問題

- (1) 3 次の 2 元 Hamming 符号  $\mathcal{H}$  は  $[7, 4]$ -符号である。パリティ検査行列 (の一つ)  $H$  を構成せよ。
- (2)  $\mathcal{H}$  の生成行列 (の一つで  $GH^T = 0$  となるような)  $G$  を求めよ。
- (3)  $w(e) = 1$  なる  $e \in F_2^7$  を列挙し、そのシンδροーム  $eH^T$  との対照表を作れ。
- (4) 符号語  $x \in \mathcal{H}$  を適当に一つ生成し、適当に 1 箇所だけ変えた (誤りを入れた) 語  $y \in F_2^7$  について、シンδροーム  $yH^T$  を計算せよ。また、正しく復号すると元の  $x \in \mathcal{H}$  が得られることを確かめよ。